

葬祭流儀

そうざいりゅうぎ

良き人生のための

終活

マガジン



RyuRyu

SaiSai

with 終活Cafe

首都圏2017
年度版

定価 780
yen

相続基礎知識
祈りの新提案
弔事の基本

”終活“再考！
完全マニュアル

いざという時でも安心
失敗しないための終活 最新版



「終活は自分ごととして捉えるのは 誰もが難しいもの」

やっぴやっぴ、終活とは？

終活完全マニュアルに入る前に、「終活」についての認識をあらためて確認しておきたい。終活の生みの親と言われ、終活に関する講演やセミナーで日々、全国を駆け巡っている終活カウンセラー協会代表理事の武藤頼胡さんに今の思いを聞いてみた。

終活セミナー講師を努めているとご自身が参加されているに自分ごとのように思えないという方がたくさんいることに気づきます。そういう私もこのような仕事をしていますが、「明日はある」と信じて何事も行っています。そしていつまでも健康でいるような錯覚に陥ります。「自分ごと」として捉えるのはなかなか人間難しいようです。

この終活というのは、生きていくときに終焉を考えようというのだから、縁起でもない、またやりにくいのは当然です。しかし、日本の社会背景をみても、そうは言っていられないのが現状です。高齢化率は26.7%（27年高齢社会白書より）、4人に1人以上が65歳を

超えている。そして年間の死亡者数約1万3千人。生まれてくる赤ちゃんは約1万人。人口は減り、益々高齢化が進んでいくのは間違いない。そんなとき家族の力は大きく相談したいが核家族化が進み、1世帯の人数が2.5人を下回り、65歳以上の一人暮らしは480万人もいます。この事実と日々歳はとっていく事実からか、終活セミナーにはたくさんの方々の先輩方がいらつしやいます。そして皆さんおっしゃいます。「家族に迷惑をかけたくない」と。迷惑が掛かるか掛からないかの論点は置いておくとして、「なぜ迷惑をかけたくない」という気持ちになるのか考えてみたいと思います。いきなり街を歩いていてすれ違う方に思わないです

よね。そう、大切に大事な家族だからこそ、迷惑をかけたくないと思うのです。終活というのは様々な分野があります。分野だけでなく、心模様、家族関係、生きていく上での目標、目的、私にとってはそれを意識したときから、全てが終活だと思っています。つまりは自分が死んだ



武藤頼胡さん

一般社団法人終活カウンセラー協会代表理事
「終活」という考え方を普及すべく、全国各地で精力的に講演活動を行い、一人ひとりと対面しながら「終活」を伝えてる。テレビ・新聞・雑誌など各メディアへの出演も多数。





終活フェスタ in 東京 2017

終活カウンセラー協会が主催するイベント。2013年に東京にて開催され、以降毎年開催され今年第5回目の開催となる。実際に終活の準備を具体的にを行う参加型イベントとして大きな反響を得ている。東京以外でも大阪、沖縄でも開催されている。

日時：2017年12月16日(土) 9:00～16:30
会場：大田区産業プラザ Pio (東京都大田区南蒲田1-20-20)
入場無料(予約不要)

あとのことは自分自身が困るわけではないのに家族に迷惑をかけたくないという気持ちから準備をする。これは単なる準備ではなく、家族への愛情、感謝の気持ちからくる行動ではないでしょうか。しかし、なかなか自分自身のお葬式の準備をする、お墓の準備をするのは大変だと思います。終活は一人でするものではなく、家族で考えそして家族まわりにとって納得した形

で行っていく。これが健全で安全な終活だと思います。まずは子世代である私たちも親のことで後悔のない人生を過ごすために、親が元気なうちにしっかりと考えて頂ければと思います。終活とは人生の終焉を考えることを通じて自分をみつめ、今をより良く自分らしくいきる活動です。ひとつずつひも解いていきたいと思っています。

一般社団法人終活カウンセラー協会

「終活カウンセラー」資格を認定し、その育成に尽力している。エンディングノートが書けるような基礎知識を得られる初級資格に始まり、一般の人たちにアドバイスができる上級資格、さらには「終活カウンセラー」を養成できるインストラクター資格へとステップアップが可能。

「そういう私も「いつまでも明日はある」と信じてます」

終活全般を全面サポートする終活カウンセラー

相続や保険、葬儀や供養、死生観など、終活で扱う分野は多岐にわたる。ときに専門知識も必要とされる。だから迷いや不安があっても当然。そこで頼りになるのが「終活カウンセラー」という存在である。どんな方がどんな活動をしているか現在活躍中の「終活カウンセラー」の横顔に迫ってみた。



嶋本 恵子 さん(48歳)

住所/大阪府茨木市

職業/カルチャースタジオ経営

①終活カウンセラーになった理由

私は高齢者のための運動セミナーや勉強会を行う活動しております。その中で、健康とは身体だけではなく、心の健康が最も大切だと実感し、高齢者の気持ちに寄り添える終活カウンセラーの資格を取得しました。

②終活カウンセラーとしての活動内容と資格を取得してよかったこと

運動セミナーの会員様向けや他団体様よりの依頼で、エンディングノートの書き方講習会を開催しました。まだ回数的には数回ですが、毎回反応が違い、発見や出会いが多く、また反響の大きさに驚いています。講習会で終活写真のお話をさせて頂いた後に、「早速夫婦でドレス姿の写真を撮りに行きました。結婚式を挙げていなかったのが良い記念になりました。ありがとうございます」と感謝され、本当に素晴らしい資格だと思いました。

③今後の目標

カルチャースタジオという職場を通じて、毎日幅広い世代の方との交流があります。昨今は人との繋がりが希薄だと言われますが、個人個人の少しいやりの気配りでもっと円滑な人間関係が築けるのではないかと感じております。終活カウンセラーならではの小さな気づきを大切に、コミュニケーション作りにも役立てて行きたいと思っております。



中村 龍彦 さん(41歳)

住所/福岡県福岡市東区

職業/コンサルタント

①終活カウンセラーになった理由

保険業界の全国会議にて、終活カウンセラー協会創設の話武藤代表に伺い、「終活」という考え方が私たち保険業界にとっていかに重要なことかと衝撃を受け、検定を受講し考え方を広めることが使命だと感じ受講を即断しました。

②終活カウンセラーとしての活動内容と資格を取得してよかったこと

終活相談業務はもとより、終活関連サービスの会社設立及び、日本初終活相談カフェの開業、海外での終活をテーマに現地勉強会の実施、独自にFM番組をもち情報発信をし続ける事でラジオ局と行政と私のコラボ企画「終活体感バスツアー」の開催など、「終活」を学ぶことで知識の幅が広がり、さまざまな方々との出逢いや繋がりを持つことでクライアントへの提案の質向上に繋がるようになりました。そして自分自身のこれからの生き方に拘ろうとフォーカスするようになりました。

③今後の目標

「終活」=「今」を生きることの大切さなどを、潜在的に不安を抱えている方や若い世代の一人でも多くの方に、今以上に届けることで個々が、自分の人生の主役は自分だけであると胸を張って生き、その結果、住みやすい国になるよう引続き相談業務や情報発信を続けて参ります。また自分自身も「今」を生きることに拘り前進します。

終活カウンセラー初級検定 (首都圏開催)

7月6日(木)

仏教人生大学銀座キャンパス内
(東京都中央区)【女性限定】

7月9日(木)

おくりびとのお葬式稲城サロン
(東京都稲城市)

7月20日(木)

終活カウンセラー事務局内
R&Sセミナールーム(東京都品川区)

7月25日(火)

トヨタドライビングスクール東京
3階A会議室(東京都立川市)

8月5日(木)

スクエア荏原BC会場(東京都品川区)

8月27日(日)

サンブラザ市原研修室I(千葉県市原市)

8月29日(火)

秩父地域地場産業振興センター 301号室
(埼玉県秩父市)

終活カウンセラー協会勉強会 (首都圏開催)

※終活カウンセラー資格有無関係なく参加可能

7月13日(木)

NHKで特集された<手紙寺>で学ぶ
仏教と新しいお墓 in 船橋
～お寺で終活勉強会～
会場：手紙寺證大寺船橋昭和浄苑
(千葉県船橋市)

7月27日(木)

NHKで特集された<手紙寺>で学ぶ
仏教と新しいお墓 in 森林公園
～お寺で終活勉強会～
会場：手紙寺證大寺森林公園昭和浄苑
(埼玉県東松山市)

7月28日(金)

大学生で終活カウンセラー、終活サイトを
運営する会社取締役が教える
～インターネット活用法～
会場：終活カウンセラー事務局内R&Sセミナー
ルーム(東京都品川区)

8月1日(火)

エンディングノートの書き方セミナー講師
養成講座
会場：終活カウンセラー事務局内R&Sセミナー
ルーム(東京都品川区)

8月20日(日)

エンディングノートの書き方セミナー講師
養成講座
会場：終活カウンセラー事務局内R&Sセミナー
ルーム(東京都品川区)

一般社団法人 終活カウンセラー協会

東京都品川区旗の台4-2-5
ホープイン旗の台2B
TEL: 03-6426-8019
http://shukatsu-csl.jp



鈴木 久美子 さん(47歳)

住所/栃木県宇都宮市

職業/(株)ツナグ

①終活カウンセラーになった理由

いつかは亡くなる我が命を意識し、今を生きる。だから毎日をどう生きるべきなのか。自分がその事に向き合い生きているのか?その事すら忘れかけているのではないか?そのことを意識することで、改めて自分の生き方を考える、そのきっかけになればと思ったのが受講のきっかけです。

②終活カウンセラーとしての活動内容と資格を取得してよかったこと

まず私がはじめに思った事は、「現場の生の声を聴きたい」ということでした。弊社の近所の高齢者の方々と顔を合わせれば積極的に話しかけることで様々なお話を聞く事ができました。地域のグランドゴルフの場に足を運んで一緒にお茶をしながら忌憚ないご意見を聞く事ができ会話の中でみなさんのたくさんの笑顔を見ることもできました。活動を通して、みなさんの笑顔が人生の終わりまで継続できるように私が得た知識が何かの手助けになること、さらに活動の場を広げ、常に寄り添うカウンセラーとしてお役にたてるのではないかと感じる事ができたことが私にとって資格取得によって得た喜びと今後の活動に対する意欲です。

③今後の目標

私が大事に考えていることは、個々が本当に求めているものを見つけ出し出来る限りその声に応えられる形を作ることです。そしてその心と心をつなぐアシストを人がするまさに古き良き時代の先輩方がやってこられた「地域の密着性寄り添う心」それが私の目指すカウンセラーです。心の豊さが幸せに繋がる。そして高齢者の方々が「誰にでもつい声をかけたくなる」と思うようなサロンを作りたいと思います。



佐々木 将一 さん(22歳)

住所/東京都中野区

職業/大学生・会社役員「終活ねっと」運営

①終活カウンセラーになった理由

私は現役の大学生なのですが、「終活ねっと」という終活の情報を伝えるサイトも運営していて、その会社の役員でもあり、終活をしっかりと体系的に学びたいと思い終活関係の資格を探していました。様々な資格があったのですが、その中でも知名度が高く終活全般のことを学べる終活カウンセラーを受験しました。

②終活カウンセラーとしての活動内容と資格を取得してよかったこと

終活カウンセラーの試験では、葬儀や供養のことだけでなく、相続や介護などまで終活に関する基本的なことを幅広く学べます。その結果、以前は関わっていなかった分野にも興味をもつことができ、試験後も勉強を続けられているので事業の選択肢が広くなりました。また、終活カウンセラーという業界での知名度の高い資格を持っていることで、個人だけでなく会社としても信用していただきやすくなりました。

③今後の目標

終活カウンセラーの試験で学んだ相手の話を聴くスキルを活かし、現在運営している「終活ねっと」で日本の終活業界をより良くしたいです。ユーザーの方が求めている情報を提供するだけでなく、それぞれの悩みや疑問に対してこちらから提案もできるような、一人ひとりの終活に寄り添うサイトを作り上げたいと思っています。